



ZONTA
INTERNATIONAL
DISTRICT 26
BUILD A BETTER WORLD
FOR WOMEN AND GIRLS



国際ゾンタの目標 2026-2028
Build a Better World for Women and Girls
女性と少女のためのより良い世界を築く

挿絵:長谷部尚子 (東京Ⅱ)

HARMONY を奏でよう！

2026-2028 年度 ガバナー
矢崎 和喜子

ガバナーに就任して、2 か月余りが経ちました。

この間、日本各地、そして世界各地で、豪雨や洪水などさまざまな自然災害が相次いでいます。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く平穏な日々が戻りますことを切に願っております。

そのような中、新しい 2 年期を迎えた 26 地区では、理事会、各委員長、そしてクラブ会長の皆様がそれぞれの役割を担い、活動が着実に動き始めています。理事会では地区奉仕事業について協議を重ね、各委員長もそれぞれの活動に向けて準備を進めています。また、クラブ会長会議では、地区と各クラブが情報や思いを共有する機会を持つことができました。それぞれの役割は異なっても、目指すところは同じです。

近年、気候変動は私達の暮らしに直接関わる問題となり、災害時には女性や少女の健康や尊厳、安全にも大きな影響を及ぼします。だからこそ、「Zonta Says NOW」を通して、気候変動が女性や少女に及ぼす影響に目を向けることが、ますます重要になっていると感じています。

また、9 月 16 日に世界経済フォーラムが発表した 2026 年版「ジェンダーギャップ指数」で、日本は 145 カ国中 117 位でした。昨年の 118 位からわずかに順位を上げたものの、依然として低い水準にあります。日本で初めて女性首相が誕生した一方、この数字を見ると、社会のさまざまな場に、なおジェンダー格差が残されていることを改めて考えさせられます。すぐに答えの出る問題ではありませんが、この現状を知ることは、私たちがゾンタの使命であるジェンダー平等について改めて考える一つの機会になるのではないのでしょうか。

そして間もなく、11 月 25 日から 12 月 10 日までの「女性に対する暴力撤廃のための 16 日間」が始まります。「Zonta Says NO to Violence Against Women」のもと、世界中のゾンシャンが女性と少女への暴力をなくすために声を上げ、行動する 16 日間です。

「Zonta Says NOW」と「Zonta Says NO」。テーマは異なっていますが、女性や少女の命、尊厳、安全を守り、誰もが平等に生きられる社会をつくりたいという願いは同じです。その思いを、一人ひとりの行動につなげていくことが大切ではないのでしょうか。

一人ひとりの音色は違っていても、同じ使命のもと、互いを尊重しながら力を合わせることで豊かなハーモニーが生まれます。「HARMONY を奏でよう！」のもと、4 つのエリア、会員の皆様とともに、女性と少女の未来へ希望をつなぐ歩みを進めてまいりたいと思います。

26 地区のリエゾンの Jutta 国際理事からのメッセージ

親愛なるゾンシャンの皆さまへ

国際ゾンタの国際理事として、また 26 地区のリエゾンとして皆さまと一緒にできることを、大変うれしく、光栄に思っております。

私は物理学者、電気技術者として、かつて 3 年間、日本で生活し、仕事をしていました。1 年間は大阪近郊の尼崎にある三菱電機中央研究所で、その後 2 年間は筑波研究学園都市のライボルトで勤務しました。娘のヨハンナが生まれたのも筑波です。私が仕事を続ける一方で、芸術家で石彫家でもある夫が娘の世話をしてくれました。当時の日本では、同行する配偶者が就労許可を得ることは容易ではなかったからです。日本での暮らしは、私たち家族の心に今も深く残っています。南は九州から北は北海道まで各地を旅し、人々の温かさ、文化、音楽、夏祭り、そして何より温泉が大好きになりました。一方、ドイツ人である私たちにとって、人口密度の高い国で暮らすということに驚くこともありました。例えば、車を買えばそのまま車で通勤できる、というわけではありません。限られた空間の中で、日々の暮らしの仕組みも異なっていました。



私は職業人生のほとんどを、男性が圧倒的に多い環境の中で過ごしてきました。娘の出産後 8 週間を除けば、職場で女性は私一人ということがほとんどでした。もしかすると、それが私がゾンタと出会うのが比較的遅かった理由の一つかもしれません。しかし、そうした経験があったからこそ、より多くの女性がリーダーとして活躍すること、そしてより多くの女性が STEM 分野の道に進むことの大切さを実感してきました。

2018 年の横浜国際大会の後、私はすぐに自分の地区で「女性技術者奨学金」を導入しました。そして、それをより幅広い「STEM 奨学金」へと発展させることにも力を注ぎできました。この奨学金は、2026 年のバンクーバー国際大会以降、毎年授与されることになりました。若い女性たちが科学・技術・工学・数学の分野を目指すことを後押しすることは、より力強く、より公平な未来への投資だと考えています。

こうした活動を重ねる中で、私は国際理事を務めることになりました。この 2 年間、世界各地の熱意あるゾンシャンの皆さまとともに、女性と少女たちの生活をより良いものにするために活動できることを、大変光栄に思っています。技術分野に携わってきた女性として、私は国際会長のテーマである **S.H.A.R.E.** に強く共感しています。中でも、私にとって「Sustainability(持続可能性)」は特に重要です。ゾンタにおける持続可能性とは、会員数の動向や世代構成の課題に向き合い、私たちの組織が将来にわたって活力を保ち続けることでもあります。

ゾンタの各種賞、奨学金、フェローシップを通して、私たちは才能ある若い女性たちとつながることができます。また、国際メンタリング・プログラムを通して、経験豊かなゾンシャンが自らの知識や職業経験を次の世代へ伝えることができます。E クラブは、学業や家庭、キャリアを築き始めた時期との両立を図りながら、若い女性たちが柔軟にゾンタの活動に参加できる機会を提供しています。

「未来に向けての青写真」を通して、私たちはゾンタをより柔軟で、より現代に即した、若い世代にとってより魅力ある組織へと変えていこうとしています。同時に、これまでゾンタを支えてきた強い意志、献身、そして目的を、これからも変わることなく大切にしていきます。

女性と少女たちにとって、より良い世界を築いていくために、26 地区の皆さまとともに活動できることを楽しみにしています。ありがとうございました。

Jutta Trube

アシャッフエンブルク・ゾンタクラブ(ドイツ)

【重要なお知らせ】 国際理事会の構成変更と電子投票について — なぜ、もう一度投票が必要なのでしょうか —

2026 年バンクーバー国際大会では、国際ゾンタの今後の組織運営に関わる重要な変更が承認されました。その一つが、国際理事会の人数を減らし、副会長職を廃止することです。「国際大会ですでに承認されたのに、なぜもう一度投票するのでしょうか」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。

現在の国際理事会は、会長、次期会長、副会長、会計の役員 4 名と、理事 7 名の合計 11 名で構成されています。バンクーバー国際大会では、副会長職を廃止し、理事を 7 名から 6 名に減らすことが承認されました。これにより、今後の国際理事会は、役員 3 名+理事 6 名=9 名となります。ここで関係してくるのが、Articles of Incorporation(法人設立定款)です。法人設立定款とは、国際ゾンタという法人の基本的な骨組みを定めた法的な文書です。分かりやすく言えば、国際バイロースが組織を運営するためのルールであるのに対し、法人設立定款は国際ゾンタという法人そのものの「土台」となる文書です。

現在の法人設立定款には、「国際ゾンタの運営については、最低 10 名の理事からなる理事会に権限が与えられる」(2024-2026「運営の書」2 頁、Articles of Incorporation 第 3 項)と定められています。ところが、バンクーバー国際大会で承認された新しい国際理事会は 9 名です。そのため、大会で承認された新しい理事会構成を正式に実施するには、法人設立定款の「最低 10 名」という規定を改正する必要があります。その改正のために、各クラブのデリゲートによる電子投票が行われます。デリゲートは原則としてクラブ会長ですが、クラブで別のデリゲートを選任することもできます。デリゲートを変更する場合は、11 月 14 日までに国際本部への連絡が必要です。

これは、バンクーバー国際大会で決まったことを、もう一度最初から決め直すための投票ではありません。大会で承認された新しい国際理事会の構成を実施するため、法人設立定款を改正するのに必要な手続きです。電子投票は、12 月 14 日から 17 日まで行われる予定です。各クラブ会長におかれましては、10 月 15 日頃に国際本部から届く投票に関する案内をご確認くださいようお願いいたします。26 地区では、今後、国際ゾンタから電子投票の方法や手順について詳細な案内が届き次第、皆様にお知らせいたします。また、必要に応じてクラブ会長会議等の機会を設け、投票方法や注意点などについて、皆様と一緒に確認していきたいと考えています。

国際ゾンタ 26 地区 各委員会からのお知らせ

◆ 奉仕委員会

2027 ゾンタ ヒトデプロジェクトの経過報告 奉仕委員長 地主ちづ子

ヒトデプロジェクトは、若い女性たちの自立を支援することを目的とした 26 地区の奉仕事業です。活動資金は、ゾンジャンの皆様から 26 地区奉仕会計にお寄せいただいたご寄付によって賄われています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

現在、地区理事会では、今期のヒトデプロジェクトをより良いものとするため、8月より審議を重ねています。前2年期から申し送られた案に加え、新たに2つの案が提出されており、現在はその3つの案について、それぞれの内容や実施方法の一つひとつ丁寧に検討しています。いずれか一つの案をそのまま採用するのではなく、それぞれの案の良い点を取り入れながら、より良い形にしていこうと目指しています。また、前回の実施を通して見えてきた課題や反省点も踏まえ、より多くのゾンシャンの皆様にご理解、ご協力いただける事業となるよう、理事会で審議を進めています。今後も、検討の状況や決定事項について、ガバナー通信を通して皆様にご報告してまいります。

9月13日に開催された横浜ゾンタクラブ創立60周年記念式典に出席いたしました。そのプログラムには、フェルナンダ国際会長から寄せられたメッセージが掲載されており、その中で Starfish Project について触れられていました。フェルナンダ会長は、施設を離れ、自立した生活へと歩み始める少女たちを支援することは、これから直面する現実的な課題を助けるだけでなく、自らの未来を思い描き、目の前にある可能性に気づくことにもつながると述べています。そして、それはゾンタに何ができるのかを力強く示すものであり、「扉を開き、機会をつくり、女性や少女たちが自らの可能性を信じられるよう支援すること」であるとのメッセージが寄せられました。この言葉は、ヒトデプロジェクトが大切にしてきた理念にもつながるものです。この理念を大切にしながら、26地区として、より良いヒトデプロジェクトのあり方を皆様とともに考えてまいりたいと思います。皆様からのご意見やご要望は、奉仕委員長 地主ちづ子 c.jinushi@outlook.jp までお寄せ下さい。

※「第2回ゾンタヒトデプロジェクト」から「2027ゾンタヒトデプロジェクト」に名称変更しました。

◆ 国際ゾンタ教育プログラム — 未来を拓く奨学金と賞

☆ Amelia Earhart Fellowship(AEF)アメリアハート奨学金委員長 清水佳子



アメリアハート奨学金(以下 AEF)は航空宇宙科学の分野に多くの女性が進出することを目的に 1938 年米国女性パイロットのアメリアハートの遺志を継いで設立されました。しかしこの分野の最先端をいく米国でさえ女性が進出しキャリアを積む機会は少なくインドの男女比は男性 84%、女性 14%が現状です。公平なキャリア機会の未来を築く為に AEF の重要性は増えています。

・AEF は 2028 年に設立 90 周年を迎え奨学金は 120,000 \$ に増額されます。奨学金は全て寄付金で賄われ、年会費からの資金提供はありません。

・昨年度の実績は米国 x14、インド x4、カナダ x3、中国 x2、その他インドネシア、イタリア、イスラエル、韓国、タイ、香港が各 1 名。残念ですが日本からの受賞者は出ませんでした。過去の受賞者も山崎直子氏のみです。

・対象者は以下の研究に従事している大学院博士課程在学者、又は修士号所持の大学院生。

アメリア・イアハートフェロウシップ (奨学金)	Zonta Young Women in Leadership (YWLB賞)	Zonta Women in Business Leadership Award (WIBL賞)	Zonta Women in STEM Award (ゾンタ女性STEM賞)
航空・宇宙関連分野で博士号の取得を目指す優秀な女性に、研究を支援する奨学金を提供します。アメリア・イアハートの開拓精神を受け継ぎ、次世代の女性リーダーを応援します。	地域社会や学校でリーダーシップを発揮し、積極的に活動する若い女性を表彰します。将来、社会の変化を担うリーダーとしての成長を支援します。	ビジネス分野においてリーダーシップを発揮し、革新的なアイデアで社会に貢献する女性を表彰します。女性の経済的自立と持続可能な社会づくりを応援します。	科学・技術・工学・数学 (STEM) 分野で優れた能力を発揮し、社会に貢献する女性を表彰します。女性のSTEM分野への進出とキャリア形成を支援します。
国際フェロー	国際賞	国際賞	国際賞
最大 30 名	最大 37 名	最大 10 名	最大 16 名
1 名 US\$12,000 (支給額)	1 名 US\$5,000	1 名 US\$5,000 + 1年間のサポーティングメンバーシップ (無償)	1 名 US\$5,000 + 1年間のサポーティングメンバーシップ (無償)
応募資格 (日本): 航空・宇宙関連分野で博士課程に在籍する女性	応募資格 (日本): 16~19歳の女性 (高校生相当)	応募資格 (日本): 18~35歳の女性 (大学生・大学院生・社会人の方)	応募資格 (日本): 大学2年生~大学院最終学年の女性
国際の実績締切: 2026年11月15日, 2027年11月15日	国際の実績締切: 2027年4月1日, 2028年4月1日	国際の実績締切: 2027年1月2日, 2028年1月2日	国際の実績締切: 2027年3月1日, 2028年3月1日

チラシ作成: 西尾英子ゾンタ WIBL 賞委員長

昨年度受賞者の研究分野は宇宙物理学、航空宇宙工学、無人自立航空機開発、天文学、惑星科学／物理学、地質学、地球／環境科学、大気海洋科学／物理学、コンピュータ工学 など専門性が高くかつ多岐に渡ります。

◇ ゾンタ STEM 賞委員長 中村貴子



ゾンタ STEM 賞では、科学分野、例えば環境問題や医療の分野で、努力が認められた大学 2 年生以上に在学する女子の表彰事業です。全世界で 16 名が選ばれ、賞金 5,000US ドルと翌年の国際ゾンタによる 1 年間の無料賛助会員資格が付与されます。各クラブから 26 地区にご推薦ください！応募については国際ゾンタの HP

(<https://zonta.org/Web/Programs/Education/Zonta Women in STEM Award.aspx>)にある書類を作成し、中村(taka@kpu.ac.jp)まで提出ください。締め切りは 2027 年 1 月 15 日(金)とします。

◇ ゾンタ WIBL 賞委員長 西尾英子



Zonta Women in Business Leadership Award

(ゾンタ女性ビジネスリーダーシップ賞/Zonta WIBL Award)

ゾンタ WIBL 賞 — 女性の挑戦とリーダーシップを未来へつなぐ

国際ゾンタでは、ビジネスの分野で活躍する女性のリーダーシップを支援する

「Women in Business Leadership(WIBL)Award」を実施しています。この賞

は、ビジネスの分野で優れたリーダーシップや起業家精神を発揮し、女性や少女を取り巻く課題などにも目を向けながら社会に貢献する、18 歳から 35 歳までの女性を顕彰・支援するものです。私たちゾンタ会員の身近にも、仕事に情熱を持ち、新しいことに挑戦しながら、地域や社会のために力を尽くしている女性がたくさんいます。「この人ならぜひ応募してほしい」「この女性の活動をもっと多くの人に知ってほしい」そう思う方はいらっしゃいませんか。全国のゾンタ会員の皆さま、それぞれの地域で輝いている女性をぜひ見つけてください。そして、その挑戦をゾンタの力で応援してみませんか。一人の女性の挑戦が、次の女性の勇気となり、新しい未来につながります。全国の皆さまとともに、ゾンタ WIBL 賞を女性の未来を応援する大きな輪へとつなげていきましょう。

◇ ゾンタ YWL 賞委員長 山川多美子



ゾンタ YWL 賞(Zonta Young Women in Leadership Award／ゾンタ若い女性のリーダーシップ賞)は、自治体や生徒会、職場などでリーダーシップを発揮し、またボランティア活動に積極的に取り組んでいる、毎年 4 月 1 日時点で 16 歳から 19 歳の若い女性を応援する賞です。地域、学校、職場でリーダーシップの経験を持ち、ボランティアリーダーとして成果をあげている輝く若い女性たちをサポートしましょう。そして、ゾンシャンの皆さま、ぜひ、限りなく未来へと繋がる若い力を見つけて応援しましょう!!

※これまで「YWLA 賞」と表記していましたが、A は「Award(賞)」を意味するため、「賞」との重複を避け、今後は「YWL 賞」と表記します。

◆ アドボカシー委員会

Zonta Says NO のお知らせ 委員長 佐佐木 アユ美

ZONTA SAYS NO ～ 私たちの声を、行動へ ～

■ 11 月 25 日「女性に対する暴力撤廃の国際デー」 ■ 12 月 10 日「人権デー」

■ 11 月 27 日児童婚 早婚 強制結婚撤廃国際デー

世界中のゾンシャンが心をひとつにする 16 日間 です。国際ゾンタでは、女性と少女に対する暴力のない社会を目指し、「ZONTA SAYS NO to Violence Against Women」を世界各地で展開しています。この 16 日間、26 地区でも各クラブの皆さまと一緒に「ZONTA SAYS NO」のメッセージを地域社会へ届けていきたいと思っています。

26 地区から、3 つの ACTION !

01 | SNS で発信しよう

各クラブの活動や「ZONTA SAYS NO」のメッセージを SNS で発信し、私たちの声を地域社会へ届けましょう。

02 | オレンジを身につけて写真を撮ろう

洋服、スカーフ、リボン、小物など、どんなものでも構いません。

クラブの皆さままでオレンジを身につけ、「ZONTA SAYS NO」集合写真を撮影してください。

03 | 活動を地区で共有しよう

ライトアップ、啓発活動、SNS 発信、地域や関係団体との連携など、各クラブの取り組みをぜひ地区へお寄せください。

それぞれの活動を共有し、26 地区全体の大きな発信へつなげていきましょう。

大きな事業でなくても構いません。知ること。伝えること。声を上げること。その一つひとつが、アドボカシーの第一歩です。一つのクラブの行動を、26 地区の行動へ。そして、世界のゾンタとつながる大きな力へ。「NO」と言える社会、すべての女性と少女が安心して生きられる未来を目指して、今年の 16 日間、26 地区の皆さまと心をひとつに発信してまいりましょう。

写真・活動報告をお寄せください

提出内容

- ・活動内容(簡単なお報告)
- ・オレンジを身につけた集合写真
- ・その他の活動写真

提出先・締切 12月15日(火) ayumi@hanjou.co.jp

◆Z&ゴールデン Z クラブ委員会

委員長 松田 典子

国際より、ゴールデン Z クラブと Z クラブの皆様にお知らせです。

「武力紛争下における女性と少女への暴力」をテーマにした歌、詩、創作文章などのオリジナル作品を募集しています。

選ばれた作品は「ゾントは NO というサミット」で紹介されます。11 月 15 日締切で、提出先は programs@zonta.org です。

募集のチラシを作成いたしましたので、スポンサークラブとゴールデン Z クラブ・Z クラブには、改めてご案内申し上げます。



チラシ作成:松田典子 Z & GZ クラブ委員長

国際ゾントタからのお知らせ

■ 国際ゾントタの会員数

2026 年 6 月 30 日現在、国際ゾントタの会員数は 21,967 名で、前年同期と比べ約 2.35%減少しています。会員増強は、引き続き国際ゾントタ全体の重要な課題となっています。

■ 新しい「ゾントタ地域還元助成金」

新たに Zonta Community Give Back Grants (ゾントタ地域還元助成金) が設けられます。詳細および申請書は 2026 年 11 月 30 日までに公開予定で、国際ゾントタへの申請締切は 2027 年 7 月 31 日です。

■ 10 月 11 日は「国際ガールズ・デー」

今年の国際ガールズ・デーでは、児童婚の根絶に向け、世界のゾンシャンが声を上げ、行動することが呼びかけられています。具体的な参加方法については、今後国際ゾントタから案内される予定です。

■ 2026－2028 年版「運営の書」が近日公開

バンクーバー国際大会で承認された国際ゾントタバイロースの変更を反映した、2024－2026 年版「運営の書」が現在更新されています。完成後、国際ゾントタのウェブサイトにて PDF 版が掲載される予定です。

■e-クラブの名称について

今期の国際大会において、e-クラブは通常のクラブと同じ扱いとなることが決まりました。これに伴い本部に確認したところ、既存の e-クラブはこれまでの名称をそのまま使用でき、また、これから設立するクラブについても、クラブ名に「e-Club」を使用して問題ないとの回答がありました。

26 地区からのお知らせ

■熊本地震被災者への義援金について

熊本地震被災者への義援金について、複数のクラブから「地区として取り組むのか、各クラブで対応するのか」とのお問い合わせを受け、理事会では、26 地区として取り組むことを決定いたしました。

国際ゾントは災害支援を目的とする団体ではありませんが、国際ゾントの「緊急・災害救援方針 (Emergency and Disaster Relief Policy)」では、クラブや地区がそれぞれの地域の状況に応じて災害支援に取り組むことが認められています。また、地区が災害支援を行う場合には、ガバナーが国際会長にその旨を知らせることとされています。今回の取り組みについても、国際会長に報告する予定です。

10 年前の熊本地震の際にも、26 地区では女性と少女への支援に特化した団体へ寄付を行いました。このたび、当時の支援先から寄せられたお礼状を拝見する機会があり、地域に寄り添う支援の大切さをあらためて感じました。

今回は、北九州ゾントクラブと福岡ゾントクラブに窓口となっただき、現地の状況を踏まえた支援先の調査・検討をお願いしております。女性と少女への支援というゾントの使命に沿った形となるよう、両クラブと連携しながら、具体的な内容を理事会で協議し、進めてまいります。

■ 26 地区リーフレットを作成します

新入会員のリクルートなどにご活用いただけるよう、現在、楢田広報委員長とともに、今期の 26 地区リーフレットの作成準備を進めています。完成次第、できるだけ早く皆様にお届けいたします。ぜひ各クラブでご活用ください。

■ 佐藤 WEB マスターからのお知らせ

26 地区ホームページに、前期のガバナー通信およびエリア通信が掲載されました。今期の通信だけでなく、これまでの 26 地区や各エリアの活動もご覧いただけるようになりました。過去の活動を振り返る機会としても、ぜひご覧ください。

■おめでとうございます！

- ★ 9 月 北九州ゾントクラブ創立 35 周年
- ★ 9 月 13 日 横浜ゾントクラブ創立 60 周年記念式典



■これからの予定

- ☆ 10 月 10 日(土) 札幌Ⅱゾントクラブ創立 40 周年記念式典
- ☆ 10 月 20 日(火) 「未来に向けたブループリント」クラブ意見・質問の AD への提出期限
- ☆ 10 月 24 日(土) 松本ゾントクラブ創立 30 周年記念式典

- ✧ 11月8日(日) 東京 I ゾンタクラブイベント:由美かおるさん講演会と“うきうきバザー”
- ✧ 11月9日(月) 姫路ゾンタクラブ創立 20 周年記念行事「チャリティーバスツアー」

8 月・9 月のガバナー活動報告

日 付	内 容
8 月 1 日	ガバナー通信第 1 号を発行
8 月 6 日	リエゾンの Jutta 国際理事との第 1 回会議
8 月 11 日	第 2 回地区理事会をオンラインで開催
8 月 16 日	『ゾンタニュース』2026 年 7 月号を和訳し、各クラブへ配信
8 月 19 日	国際翻訳委員とのオンライン打ち合わせ
8 月 22 日	「守秘義務方針確認書」に署名し、国際本部へ提出
8 月 27 日	バイローズ委員長とのオンライン打ち合わせ
8 月 29 日	第 1 回クラブ会長会議をオンラインで開催
8 月 29 日	第 3 回地区理事会をオンラインで開催
8 月 30 日	第 1 回会長会議の資料を各クラブ会長へ配信
9 月 2 日	第 4 回地区理事会をオンラインで開催
9 月 5 日	ブループリント報告書の和訳を確認
9 月 7 日	広報委員長とのオンライン打ち合わせ
9 月 13 日	横浜ゾンタクラブ創立 60 周年式典に出席
9 月 23 日	2026-2028 カレンダー翻訳完了し、各クラブへ配信
9 月 24 日	第 1 回ガバナーズ/国際委員会委員長のオンライン会議
9 月 25 日	リエゾンの Jutta 国際理事との第2回会議
9 月 27 日	第 5 回地区理事会をオンラインで開催

編集後記

今回も無事にガバナー通信をお届けすることができ、ほっとしています。今号は、多くの委員長の皆様から原稿や情報をお寄せいただき、盛りだくさんの内容となりました。また、国際ゾンタの今後に関わる定款改正と電子投票など、大切な情報も皆様と共有することができました。

こうして一つのガバナー通信が出来上がるたびに、多くの方々に支えていただいていることを改めて感じます。原稿や情報を寄せて下さった皆様、そして読んでくださる会員の皆様に、心から感謝いたします。



似顔絵作者:山田うさこ